

眼 *Insaghit*

令和3年7月30日

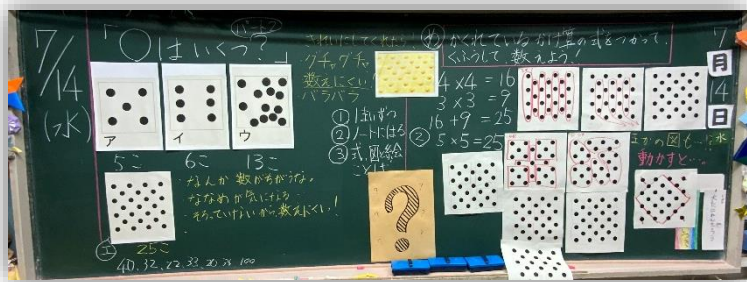
やってみる・くりかえす 捉え方・考え方の拡張

第2学年 算数科 「〇はいくつ?」「いくつずつ!」でスッカリ計算!～かけ算～

第2学年算数科の学習では、「アレイ図」を用いて数をスッカリ数えるためのまとまりを捉える学習を行いました。交互に規則的に並んだドットをどのようなまとまりで捉えて数えるのか、どのような式を組み合わせるのかを一生懸命考える子供たちの姿がありました。

25この交互に並んだドットをスッカリとしたまとまりで捉えて、どのような式で表していくのか。子供たちの多様な数の捉え方が引きだされました。2年生の「学ぶ術」

として「やってみる・くりかえす」を仮定しています。手元に、様々な考えを表出できるだけのアレイ図が用意されていて2年生には、この量が大切だと感じました。「もっと～したい!」と2年生が向かおうとする特性を引きだし、「やってみる・くりかえす」術を働かせるためのコーディネートです。「2つずつのまとまりだとどうなるかな。」「4つのまとまりと3つのまとまりで、4の段と3の段の九九を使えるな。」と「もっと、もっと」と「いくつずつ」のまとまりの組み合わせを求めていく姿がありました。日常の中で、ドットを見た子供たちが「あ、これは、いくつずつのまとまりでくくれるな。」と捉え方・見え方が拡張されていく。そんな可能性が見えてきた提案でした。



多面的・多角的に見る

とっておきの資料

第6学年 社会科 わが国の政治の働き

第6学年は、「自分にとって・・・」「今後・・・」と自分事として自分にとっての価値付けをしながら、それに値するものに向かおうとしていく時期と捉えています。そこで、この学年の子供たちが探究するために、「自分で解決したい」と捉えるに値するものを提示していくことが教師のコーディネートになってくるといえます。本時は、「日本の平和は、どのように守られているのだろうか。」という課題に対して探究する学習でした。ポイントは、「とっておきの資料」。子供たちが、事前に自分が考える「平和を守っているもの」について、リサーチをしてそれを裏付ける「とっておきの資料」を手元に用意していました。日本国憲法9条や非核三原則などの決めごとや自衛隊といった実際に守ってくれている人々など平和を守る社会的要素を自分で見つけて、自分の論を裏付けるために写真や新聞などの資料を提示しながら、班の友達と意見交換して「平和を守っているもの」についてまとめていく姿がありました。「平和な日本」だけでなく、「軍事力が世界5位といわれている。」など、子供たちが作り上げてきた『とっておき』に揺さぶりをかける仕掛けもあり、「平和がどのようにまもられているのか。」について友達と共同しながら、平和を守る要素を確かめていく学びが生みだされていました。

